



五小だより

学校教育目標
ともに学びあい、心豊かにたくましく生きる子どもの育成
～互いに認め合い・つながりあう～

2023(令和4年度)年 3月17日
第 11 号
香芝市立五位堂小学校 校長室発行

五位堂小学校創立150周年 スローガン
未来へ つながる ひろがる 五小のWA!
～感謝を込めて150年～

学校評価(保護者) 集約結果をもとにした回答について(No.2)

次に、「学校全般」に関わって、いただいたご意見に対する回答です。まずは、率直な意見をいただきありがとうございます。
「子どもたちが安心できる学校」を思っただご意見がたくさん寄せられました。様々な角度から「学校を、子どもたちを」見てくださっていることが伝わりました。職員も「お褒めのことばも手厳しい意見も」学校をより良くしていくための「糧」と考え、今後改善できることをしっかりと考え、取り組んでいきたいと考えています。

本来なら、全てのご意見に回答することが必要なことは十分理解できるのですが、その一部だけが切り取られ、誤解を招く恐れもあります。全体を見通して、「十分な話し合いなどが必要である。」や「今現在、職員が一丸となって取り組んでいる問題」などに対する意見もいただいています。それに回答することが「進行中」であるがため「答えられない」内容もあります。

どうかこれらに対しましては、今後の「改善できたこと」を「答え」として考えていただけますよう、ご理解をお願いします。
学校に対して

・1クラスあたりの人数を少なくしてほしい。について

この件につきまして、知っていただきたいことがあります。まず、学校には文部科学省より出されています、1クラスに35人という定数が定められています。例えば、学年全部で35名だとします。定数が35人なので1クラスになります。年度途中に1名転入があれば36人となり、定数を1名越えることになり、次の年度は1クラス18人の2クラスになります。では、36名の内、特別支援学級に在籍児童が1人いたとします。その児童は特別支援学級(クラス)での人数に入りますので、学級の人数は35人になり、1クラスとなります。このような事から、学級数を増やすことできない学年が本校にはあります。教育委員会へも「特別な措置」をお願いしていますが、教職員の余剰人員の問題等もあり、学級数を増やし1クラスあたりの人数を減らすことが難しい現状があります。学校としましては、今後も引き続き要望は続けていきます。

・家庭科のミシン学習など、保護者が支援者として参加できる仕組みがあればについて

新型コロナへの感染症対策ということで、外部(保護者を含め)ボランティアとして、学習活動にお手伝いいただけないことが3年続きました。ただ、社会の感染対策の緩和を鑑み、来年度は学習ボランティアを始める方向で考えています。その方法として、「保護者の方にボランティアを募る」ことを考えています。詳細については、学校から改めてご案内させていただきます。

家庭訪問、参観、懇談に関して

・家庭訪問について

家庭訪問、個人懇談は「担任が受け持つ児童の家の場所を知っておく、保護者の方に担任の顔を知っていただく、学校では見えない児童の一面を話し合える 等」を考え、来年度も実施予定です。よろしくお願いします。

・授業参観について

今のところ、学期に1回の合計3回の授業参観を予定しています。そのうち2回は休日参観の予定です。3学期の休日参観については、本校創立150周年行事を合わせて行う予定をしています。参観体制については、感染症対策の緩和に合わせて徐々にコロナ禍以前の形に戻していくことを考えています。

・学校発信について

学校からのたよりなど紙での連絡を減らして欲しいという意見をいただいております。ミマモルメなど、データでの発信も考えたと思っています。ホームページも活用が考えられると思います。また、児童の活動の様子については写真(プライバシーの保護をしっかりとした上)を活用し、できる範囲でホームページで紹介することを考えています。

創立150周年に向けて

さて、「五位堂小学校 創立150周年」に向け、実行委員会では着々と計画をすすめています。それらの計画が「タイムリーに知ることができたら・・・。」という意見から、実行委員会では「ホームページ」を作成しました。150周年記念に向けた様々な取組が見られます。右のQRコードを読み込んで、保護者の皆様も是非ご覧ください。